

## 平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月16日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テイツー

コード番号 7610 URL <http://www.tav2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 久志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 藤巻 淳一

TEL 03-5719-4775

四半期報告書提出予定日 平成25年7月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	7,564	—	101	—	103	—	39	—
25年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 42百万円 (—%) 25年2月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	77.49	77.27
25年2月期第1四半期	—	—

(注) 平成25年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成25年2月期第1四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	10,709	5,408	5,408	50.5	10,480.70	
25年2月期	12,149	5,438	5,438	44.7	10,538.45	

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 5,405百万円 25年2月期 5,435百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	110.00	—	110.00	220.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	80.00	—	0.80	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、平成25年4月15日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。

(注) 年間配当金の平成26年2月期(予想)の期末欄の記載については、株式分割後の配当予想額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない期末配当予想額は80円、平成26年2月期の配当予想合計額は160円となります。

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,600	—	152	—	150	—	43	—	83.37
通期	32,600	△4.7	610	1.0	600	△3.1	210	△14.3	4.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成25年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、第2四半期累計期間における前期比は記載していません。

(注) 平成26年2月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割後の額を記載しております。当社は、平成25年4月15日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。株式分割を考慮しない平成26年2月期の業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、407円18銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) カードフレックスジャパン株式会社 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期1Q	526,400 株	25年2月期	526,400 株
26年2月期1Q	10,652 株	25年2月期	10,652 株
26年2月期1Q	515,748 株	25年2月期1Q	517,748 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表に対する監査手続きは実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済の改善や新政権の経済政策への期待から円安、株高が進むとともに、輸出関連企業を中心に収益が改善する等、徐々に回復の兆しが見えております。一方個人消費については、資産効果により高額商品は持ち直しておりますが、消費者の節約志向は依然根強いものがあり、本格的な回復には至っておりません。

当社グループが属する業界におきましても、家庭用ゲームからソーシャルゲームへのシフト、新刊書籍・コミック誌の発行部数減少、電子書籍化等、外部環境の厳しさが増しております。

このような経営環境の下、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は75億6千4百万円、連結営業利益は1億1百万円、連結経常利益は1億3百万円、連結四半期純利益は3千9百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、カードフレックスジャパン株式会社を連結対象範囲に加えたことに伴い、事業開始に向けた先行費用が計上され、収益面での影響がありました。

(注) 前第1四半期累計期間は、四半期連結財務諸表の作成を行っていないため、前年同四半期比の表示は記載しておりません。

#### (事業の概況)

当社は、今後の成長が期待されるトレーディングカードの拡販に向けた取り組みとして、3月にトレーディングカード専門店である「トレカパーク日本橋店」を大阪市浪速区に出店いたしました。さらに、既存の古本市場店舗8店舗についても売場を改装し、トレーディングカードコーナーを拡大(前期よりトレカパーク店舗:累計28店舗達成)する等、お客様のニーズに応じた出店戦略により、将来的な業績向上の布石を投じてまいりました。

収益面におきましては、前期5店舗出店したTSUTAYA店舗のレンタル売上、EC事業の販売チャネル拡大、新品DVDの有力新作タイトル発売による売上増加が寄与したことに加え、店舗の業務効率化を中心としたコスト構造の見直しにより、固定費の削減に努めてまいりました。

しかしながら、新品ゲームの有力タイトルの発売が前期に比較して少なかったことから、新品ゲーム及び中古ゲームが低調に推移、加えて古本等既存の中古商材も低迷したため、売上は前期を下回り、当第1四半期累計期間における個別売上高は75億6千3百万円、個別営業利益は1億2千6百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は107億9百万円となり、前連結会計年度末と比べて14億4千万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少、商品在庫の圧縮によるものです。負債合計は53億円となり、前連結会計年度末と比べて14億1千1百万円減少いたしました。これは主に長短借入金、買掛金の減少によるものです。純資産は54億8百万円となり、前連結会計年度末と比べて2千9百万円減少いたしました。これは主に連結対象範囲変更の影響により、当期純利益が3千9百万円の計上にとどまった一方で、配当金の支払を5千6百万円行ったことにより利益剰余金が減少したためであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績及び連結範囲の変更を反映し、平成25年4月15日に公表しました連結業績予想及び配当金予想を修正いたしました。

詳細については、平成25年7月16日付当社「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、カードフレックスジャパン株式会社の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,655,699	1,525,112
売掛金	308,362	291,080
商品	4,264,169	4,092,376
貯蔵品	26,467	26,946
その他	566,959	580,837
流動資産合計	7,821,658	6,516,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	819,732	805,914
その他(純額)	720,753	663,132
有形固定資産合計	1,540,486	1,469,047
無形固定資産	307,616	298,476
投資その他の資産		
差入保証金	1,220,972	1,214,080
その他	1,259,198	1,211,316
投資その他の資産合計	2,480,170	2,425,396
固定資産合計	4,328,273	4,192,920
資産合計	12,149,932	10,709,273
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,034,205	566,878
短期借入金	450,000	—
1年内返済予定の長期借入金	623,397	785,084
未払法人税等	255,656	68,236
賞与引当金	63,882	11,750
ポイント引当金	235,397	229,020
その他	642,417	611,840
流動負債合計	3,304,956	2,272,810
固定負債		
長期借入金	2,377,729	2,042,793
退職給付引当金	300,848	312,142
役員退職慰労引当金	144,550	—
資産除去債務	417,099	423,235
その他	166,471	249,532
固定負債合計	3,406,698	3,027,703
負債合計	6,711,655	5,300,514

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,507	1,165,507
資本剰余金	1,119,796	1,119,796
利益剰余金	3,224,002	3,191,664
自己株式	△73,659	△73,659
株主資本合計	5,435,646	5,403,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△462	2,092
その他の包括利益累計額合計	△462	2,092
新株予約権	3,092	3,357
純資産合計	5,438,277	5,408,758
負債純資産合計	12,149,932	10,709,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	7,564,331
売上原価	5,476,050
売上総利益	2,088,280
販売費及び一般管理費	1,986,455
営業利益	101,825
営業外収益	
受取利息	922
受取賃貸料	17,820
営業補償金	6,000
その他	3,262
営業外収益合計	28,004
営業外費用	
支払利息	11,018
不動産賃貸費用	14,333
持分法による投資損失	557
その他	624
営業外費用合計	26,533
経常利益	103,296
特別損失	
固定資産除却損	2,661
特別損失合計	2,661
税金等調整前四半期純利益	100,635
法人税等	60,668
少数株主損益調整前四半期純利益	39,967
四半期純利益	39,967

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益		39,967
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金		2,554
その他の包括利益合計		2,554
四半期包括利益		42,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		42,521
少数株主に係る四半期包括利益		-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

当社グループの事業セグメントにおいては、マルチパッケージ販売事業の比率が極めて高く、その他の事業セグメントは金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。